

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7918 比較経営論A			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	J102教室				
代表教員	村田 大学				
担当教員	村田 大学				
テーマと到達目標	<p>外国企業との競争・連携が進む中で、各国企業の特徴を理解することは大切です。比較経営論Aでは、欧米に着目します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が日本と欧米の企業制度の違いを理解することができる。 2. 学生が各国企業制度の特徴の背景を理解することができる。 				
概要	<p>国が異なれば、制度も異なるため、企業経営の仕組みも異なります。本講義では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国（欧米）の企業制度は日本とどのように違うのか？ 2. そしてどうして違うのか？ <p>について学んでいきます。 外国企業と日本企業に対する理解が深まり、新しい見方や感じ方を得られるでしょう。</p>				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	ガイダンス				対面授業
第2回	資本主義の多様性				対面授業
第3回	企業制度とコーポレートガバナンス、そしてその方法				対面授業
第4回	アメリカのコーポレートガバナンス改革の歴史				対面授業
第5回	アメリカの会社機関とコーポレートガバナンス				対面授業
第6回	イギリスのコーポレートガバナンス改革の歴史				対面授業
第7回	イギリスの会社機関とコーポレートガバナンス				対面授業
第8回	ドイツのコーポレートガバナンス改革の歴史				対面授業
第9回	ドイツの会社機関とコーポレートガバナンス				対面授業
第10回	フランスのコーポレートガバナンス				対面授業
第11回	日本のコーポレートガバナンス改革の歴史				対面授業
第12回	日本の会社機関とコーポレートガバナンス				対面授業
第13回	日本の企業経営の実際				対面授業
第14回	ステークホルダー・マネジメントの日独比較：労働者保護制度を中心に				対面授業
第15回	授業の振り返り、まとめ、最終課題など				対面授業
成績評価の基準	最終課題（60%）、平常点40%（その他の課題など）				
履修にあたっての留意事項	<p>授業の内容や方法は、状況に応じて変更となる場合があります。 授業には真摯に取り組んでください。教科書は必須です。原則、欠席は認めません。 和光ポータルを積極的に活用します（各種連絡、資料配布、課題の提出等）。</p>				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細	オンライン授業はオンデマンド型で行う予定です。				
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	『コーポレートガバナンス改革の国際比較』佐久間信夫編著、ミネルヴァ書房, 2017年。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業時に随時指示します。	参考文献(ISBN)	